

第7回 俳句甲子園 開催要綱



主催：社団法人松山青年会議所
共催：松山市

<事務局> 〒790-0067 松山市大手町2丁目5-7 松山商工会館4F
社団法人松山青年会議所
TEL 089-941-0194 FAX 089-943-0149
<http://www.m-jc.net>
(俳句甲子園 HP <http://www.haikukoushien.com>)
E-mail: jc@netcruise.co.jp

第7回 俳句甲子園 開催要綱

事業名称 第7回 俳句甲子園

開催日時 平成16年8月13日(金)、14日(土)、15日(日)

開催場所

ホテル奥道後	8月13日(金)
大街道商店街特設会場	8月14日(土)
愛媛県武道館	8月15日(日)

主催 (社)松山青年会議所 TEL089 - 941 - 0194 FAX089 - 943 - 0149
E-mail: jc@netcruise.co.jp

共催 松山市 TEL089 - 948 - 6634 FAX089 - 943 - 9001
E-mail: kokusai@city.matsuyama.ehime.jp

俳句甲子園実行委員会

特別協賛  日本財団助成事業

後援(予定)

文化庁 愛媛県 愛媛県教育委員会 松山市教育委員会
(社)全国高等学校文化連盟 愛媛県高等学校文化連盟
愛媛県高等学校PTA連合会 愛媛県私立中学高等学校PTA連合会
子規新報 日本伝統俳句協会 現代俳句協会 俳人協会 俳句の缶詰
松山大学 愛媛大学 松山東雲学園 聖カトリナ学園
日本郵政公社四国支社 愛媛経済同友会 松山商工会議所 (社)日本青年会議所
愛媛新聞社 NHK松山放送局 南海放送 テレビ愛媛 あいテレビ
FM愛媛 愛媛朝日テレビ 愛媛CATV タウン情報まつやま
松山中央商店街振興組合(順不同)

事業目的 全国各地から俳句という文学を介して高校生達が松山に集い、彼らの日本語を操る能力の向上、将来的な日本俳句文学の興隆のみならず、高校生相互の文化的交流、更には大会に関わる異世代との社会的交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的とする。

参加資格 平成16年度在学中の高校生で全国大会に参加できる方

出場資格 全国大会に出場できるのは、同一校 5 名で編成され、かつ次のいずれかに該当するチームとする。

- 1 . 北海道・青森・新潟・東京・三重・大阪・広島・愛媛・福岡・沖縄の 10 会場で開催される地方大会において、優勝又は準優勝したチーム。
- 2 . 投句応募の中から、厳正な審査により選出されたチーム。(尚、地方予選において惜しくも敗退したチームは、投句応募審査の対象となります。)

開催規模 全国各地から地方大会又は投句応募審査により出場権を獲得した全 35 チームにて行う。

応募の方法 地方大会又は投句応募による参加の方法は、別紙参照

大会参加費 10,000 円 / 1 人 (地方大会の参加費は必要ありません。)

審査員長 (敬称略・順不同)

中 原 道 夫	(俳人・「銀化」主宰)
辻 桃 子	(俳人・「童子」主宰)
坊 城 俊 樹	(日本伝統俳句協会 事務局長)
他ゲスト審査員	

開催趣旨

誰でもふと口ずさむことができ、フランス人に「生きる芸術」と呼ばれた俳句。P・ピカソが「広々とした自由」と呼んだ俳句。現在全国の俳句愛好者は500万人を超え、いまや「俳句の時代」といわれるほど、この小さな詩形は、日本人の日々の暮らしに溶け込んでいます。とりわけ愛媛県では、近世から階層を問わずあらゆる分野の人々が俳諧に親しんできました。中世には神仏に捧げる邦楽連歌が多く残されており、明治以降には俳句を近代の詩として再生した正岡子規をはじめ、高浜虚子、河東碧梧桐、中村草田男、石田波郷、芝不器男、富沢赤黄男など、さまざまな個性に彩られた俳人を輩出した伝統的風土があります。俳句は、現代を生きる人々の心を〈五・七・五〉という十七音に凝縮されたわずかな言葉の空間に解き放ち、またひとつの作品が読者との間にさまざまな読み方の回路を開き、いろいろに読むことができるという自在な活力にも満ちています。各地から俳句に親しむ高校生が一同に参集し俳句を楽しみ交流することは、本来「座」に集う人々の共同の文芸であった俳句にふさわしく、そこから生まれる人間的な交流は、高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えます。

また、次代を担う若者たちの新鮮な発想と創造性、しなやかで軽やかな感受性は、この小さな詩の未知の魅力を我々の前に開いてくれることでしょう。

以上のように〈俳句甲子園〉は俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考えます。

歴代優勝・準優勝校（団体の部）

第1回	優勝：愛媛県立東温高等学校	準優勝：愛光高等学校（愛媛）
第2回	優勝：愛光高等学校（愛媛）	準優勝：愛媛県立松山東高等学校B
第3回	優勝：愛媛県立伯方高等学校	準優勝：愛媛県立東温高等学校
第4回	優勝：愛媛県立松山東高等学校	準優勝：開成高等学校（東京）
第5回	優勝：大阪府立吹田東高等学校	準優勝：愛媛県立松山東高等学校
第6回	優勝：開成高等学校（東京）	準優勝：高田高等学校B（三重）

歴代最優秀句

第1回	秋立ちて加藤登紀子が愛歌う	白石 ちひろ	松山中央高等学校
第2回	朝顔の種や地下鉄乗り換えぬ	森川 大和	愛光高等学校
第3回	裁判所金魚一匹しかをらず	菅波 祐太	愛光高等学校
第4回	カンバスの余白八月十五日	神野 紗希	松山東高等学校
第5回	夕立の一粒源氏物語	佐藤 文香	松山東高等学校
第6回	小鳥来る三億年の地層かな	山口 優夢	開成高等学校

事業詳細

大会前日：8月13日(金)

事業名称：ウェルカムパーティー

会 場：ホテル奥道後

概 要：大会前日に同一会場に選手が集い、大会オリエンテーション並びに参加者各位の相互交流を図る。

予選リーグの抽選を行う。

地方大会の模様をビデオ上映する。

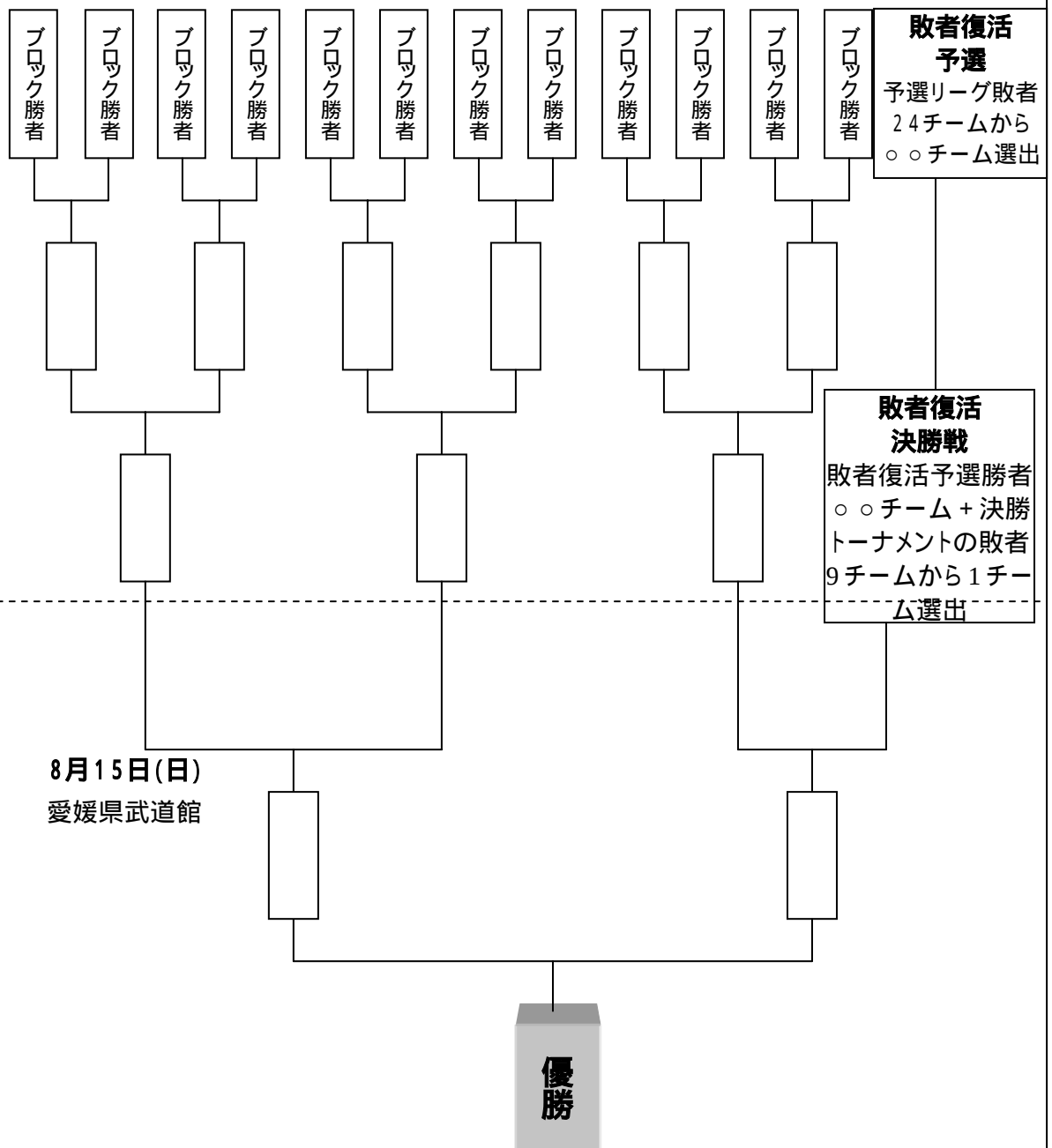
運営スケジュール（予定）

18:00～18:01	ウェルカム宣言
18:01～18:04	大会会長挨拶
18:04～18:09	松山市長挨拶
18:09～18:18	審査員長挨拶
18:18～	食事
18:30～19:00	地方大会ビデオ上映
19:00～20:12	予選リーグ組合せ抽選
20:12～20:17	大会注意事項説明（高校生対象）
20:19～20:20	閉会宣言
21:00～21:30	大会概要説明（対引率対象）

8月14日(土)
大街道特設会場

予選リーグ：ブロック内リーグ表 1 2 ブロック

	aチーム	bチーム	cチーム
aチーム			
bチーム			
cチーム			



大会第1日目：8月14日(土)

事業名称：予選リーグ・準々決勝戦

会場：大街道商店街特設会場

概要：リーグ戦形式で12会場同時進行にて試合を行う。

運営スケジュール（予定）

8：50～ 9：10 選手受付
9：10～ 9：20 開会式待機
9：20～10：20 開会式
10：20～10：40 会場移動、会場説明
10：40～11：20 予選リーグ第1試合 12会場同時進行
11：20～12：00 予選リーグ第2試合 同上
12：00～12：55 昼 食
12：55～13：35 予選リーグ第3試合 12会場同時進行
13：35～13：55 会場移動（決勝トーナメント第1試合6会場へ）休憩
13：55～14：55 決勝トーナメント1回戦 6会場同時進行
14：55～15：00 会場移動（準々決勝戦会場へ）休憩
15：00～16：00 準々決勝戦 3会場同時進行
16：00～16：20 敗者復活テーマ発表
16：20～17：20 敗者復活句創作・回収
17：20～18：20 夕 食
18：30～ 宿舎移動

開会式詳細概要

会場：大街道商店街特設会場

運営スケジュール（予定）

9：30～ 開会宣言
開会式～選手入場
大会会長挨拶
来賓挨拶
優勝旗返還
組合せ発表
選手宣誓
選手退場

予選リーグ試合形式

事前抽選により、出場全 36 チームを 12 ブロックに分割

(A / B / C / D / E / F / G / H / I / J / K / L ブロック 計 12 ブロック同時進行)

各ブロック内リーグ表

	a チーム	b チーム	c チーム
a チーム			
b チーム			
c チーム			

上記リーグ戦を大会第 1 日目大街道商店街特設会場 1 2 会場にて行う。

予選リーグの対戦は 3 句勝負で、試合時間は 4 0 分間とする。進行等は別紙試合の流れを参照するものとする。

リーグ内で最も対戦成績の良いチームを代表として選出し、代表チームどうし決勝トーナメント 1 回戦を 6 会場にて行う。

リーグ内で対戦成績が同一となった場合は、次の手順に従って選出するチームを決定する。但し、いずれの場合においても、当該チームどうしの対戦結果による勝者チームを優先するものとする。

- 1 . 全ての試合で各句対戦の勝ち数の合計（総勝数）が多いチーム。
- 2 . 総勝数が同数の場合は、全ての試合で審判の旗が多く挙げたチーム。
- 3 . 審判の旗が同数の場合は、各チーム内の獲得ポイント（創作ポイント + 鑑賞ポイント - 減点）総合計数の多いチーム。
- 4 . 獲得ポイント総合計数が同数の場合は、創作ポイントの合計数の多いチーム。

決勝トーナメントの対戦は 5 句勝負で、試合時間は最大 6 0 分間とする。先に 3 勝したチームの勝ちとし、その時点で試合終了とする。

準決勝進出（ 3 チーム）以外のチームは、準々決勝戦終了後発表される敗者復活戦用テーマに沿う代表句を所定時間内に必要数創作し提出する。

大会第2日目：8月15日(日)

事業名称：敗者復活・準決勝・決勝・表彰式

会場：愛媛県武道館

運営スケジュール（予定）

9：00～	9：20	受付
9：20～	9：30	準決勝用抽選会
9：30～	10：05	敗者復活戦予選
10：05～	10：55	敗者復活戦決勝戦
10：55～	11：10	休憩
11：10～	12：20	「俳句甲子園」準決勝戦第1試合
12：20～	12：50	昼食
12：50～	14：00	「俳句甲子園」準決勝戦第2試合
14：00～	14：10	休憩
14：10～	15：20	「俳句甲子園」決勝戦
15：20～	16：20	表彰式・閉会式

敗者復活戦

前日創作した敗者復活戦用テーマに沿う代表句により敗者復活戦を実施し、1チームを選出する。

決勝トナメント試合形式（準決勝・決勝）

対戦は5句勝負で、試合時間は最大60分間とする。

先に3勝したチームの勝ちとし、その時点で試合終了とする。

表彰式・閉会式詳細概要

会場：愛媛県武道館

運営スケジュール（予定）

14：50～ 団体優勝・準優勝表彰
個人戦入選表彰 20名
個人戦特別賞表彰 6名
個人戦優秀賞表彰 5名
個人最優秀賞表彰 1名
ディベート賞表彰 6名
個人最優秀賞表彰（投句の部） 3名
審査員長総評
閉会のことば

閉会式終了後フェアウェルパ－ティ－を開催

会場：ホテル奥道後

概要：参加選手が主体となって運営し、互いに健闘を湛え合い、親睦を図る。

試合の流れ

試合形式

5人編成の2チームが赤白に分かれ、1対1の対戦形式で試合を行います。
(予選は3句、決勝トーナメントは5句勝負)

それぞれの俳句の創作ポイント(1)と、互いの俳句に対する鑑賞ポイント(2)
の合計(3)を対戦ごとに競い、勝敗を決します。予選は3句全て対戦し、2勝
したチームの勝ち、決勝トーナメントは先に3勝したチームの勝ちとなります。

対戦進行表[予選リーグ戦] ()内は準々決勝以降の所要時間を示します。

予定時間(分)	イベント内容	備考
0.5	披露(俳句の披露)	赤白順次行います。
3(4)	質疑応答(赤チームの句に対して)	所定時間内で白組より提出句に対し質疑を、赤組より返答を設問の続く限り行います。
3(4)	質疑応答(白チームの句に対して)	所定時間内で赤組より提出句に対し質疑を、白組より返答を設問の続く限り行います。
4	審査員の設問 審査ポイント記入 判定 審査員解説	質疑応答の時間が余れば、審査員の設問時間に充当します。 判定の後、審査員の評価ポイントを公表します。

披露の順番は対戦句ごとに交代します。よって質疑応答の順番も同様に交代します。

評価の基準

1 創作ポイントについて

各審査員が、提出句ごとに10点満点で俳句の創作力を総合的に評価します。

2 鑑賞ポイントについて

各審査員が、対戦ごとに質疑応答を審査して、各チームの総合鑑賞力を評価し、5点の持ち点をそれぞれのチームに配分します。

3 合計ポイントが同じ場合

原則として、創作ポイントの高いチームの勝利とします。

減点がある場合は、減点のない又は減点数の少ないチームの勝利とします。

以下競技の際の注意点

- ・相互の鑑賞力を促進する為、対象句側のチームによる句の自発的な解説は行いません。
- ・お互いに俳句という文学的フィールドの中で協議対象句に対する個々の見識・感受性・創造力を競い合うことを目的とする対戦であり、決して作品・個人に対する中傷誹謗の場ではありません。